

珠算能力検定 1 級・2 級・3 級試験受験者への注意 (日珠連 準 1 級・準 2 級 準用)

1. 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
2. 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
3. 受験するときに持参するもの。
 - (1) 受験票
 - (2) 筆記用具
 - (3) そろばん
 - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書(運転免許証、旅券(パスポート)、社員証、学生証など)。ただし、小学生以下の方は必要ありません。

4. 答案記入上の注意

- (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
- (2) 答の 1 の位又は円の位以上には、3 位ごとにコンマ「,」を付けること。
- (3) 無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 0.25 1,427.39 2,905,406
- (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 小数第 3 位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595	0.460 0.46
5.2004	5.200 5.2 (5.20 とは書かないこと。)
- (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 0.45

そろばん面	答
0.45	0.45 .45 (0.450 又は .450 とは書かないこと。)
5.2.....	5.2 (5.20 又は 5.200 とは書かないこと。)
- (6) 名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) ¥9,528 ¥9,528. ¥9,528- 9,528

(¥9,528.0 ¥9,528¥ ¥9,528 円 9,528¥のような書き方はしないこと。)

〔注〕 答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
- (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- (8) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- (9) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
- (11) コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。

5. その他の注意

- (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- (2) 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
- (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
- (4) 受験票を紛失したり、忘れてしまった場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。

珠算能力検定 4 級・5 級・6 級試験受験者への注意

1. 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
2. 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
3. 受験するときに持参するもの。
 - (1) 受験票
 - (2) 筆記用具
 - (3) そろばん
 - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。
4. 答案記入上の注意
 - (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
 - (2) 答の 1 の位又は円の位以上には、3 位ごとにコンマ「,」を付けること、が原則であるが付けなくてもよい。
 - (3) 名数の答の頭には、円の記号（¥）を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
 - (4) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
 - (5) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
(例) 123,456
~~123,456~~
 - (6) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は（ ）で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
 - (7) 答を二つ以上書いたりしないこと。
5. その他の注意
 - (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
 - (2) 計算開始の合図があるまでは、問題を開かないこと。
 - (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
 - (4) 受験票を紛失したり、忘れてしまった場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
 - (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。

暗算検定試験受験者への注意

1. 答案記入上の注意

- ①答は、定められたらんの中に、はっきりと書くこと。
- ②答をたてに書いたり、二段に書いたりしないこと。
- ③答を書き直す場合、定められたらんの中に書けないときにはらん外に書いて、答の頭にその問題の番号を○または（ ）でかこむか、そのらんまたはその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- ④答を二つ以上書いたりしないこと。

【1・準1・2・準2・3・準3級】

- ⑤答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- ⑥答の1の位以上には、3位ごとにコンマ「，」をつけること。
- ⑦コンマは、数字のあいだに書き、数字にふれたり、数字にかさならないようにすること。
- ⑧同じ数字やコンマでも二重に書いたり、なぞったりしないこと。

【4～10級】

- ⑨答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。

2. その他の注意

【1級～10級共通】

- ①計算開始の合図があるまでは、文ちん・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- ②計算開始の合図があるまでは、問題を開かないこと。
- ③アラーム時計を使用するときは音を出さないようにすること。
- ④受験票を紛失したり、忘れていたりしたような場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- ⑤携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。

段位認定試験受験者への注意

1. 答案記入上の注意

- ① 答は、定められたらんの中にはっきりと書くこと。
- ② 答の1の位または円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」をつけること。
- ③ 無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 0.25 1,427.39 2,905,406

- ④ 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595·····	0.460 0.46
5.2004·····	5.200 5.2

- ⑤ 端数の処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

そろばん面	答
0.45·····	0.45
5.2·····	5.2

- ⑥ 名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) ¥9,528 ¥9,528. 9,528

〔注〕 答の頭には、円の記号(¥)をつけるのが原則であるが、つけなくてもよい。

- ⑦ 答をたてに書いたり、二段に書いたりしないこと。
- ⑧ 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- ⑨ 答を書き直す場合、定められたらんの中に書けないときにはらん外に書いて、答の頭にその問題の番号を○または() でかこむか、そのらんまたはその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- ⑩ コンマや小数点は、数字のあいだに書き、数字にふれたり、数字にかさならないようにすること。
- ⑪ 同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。

2. その他の注意

- ① 計算開始の合図があるまでは、文ちゃん・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- ② 計算開始の合図があるまでは、問題用紙をおらないこと。
- ③ アラーム時計を使用するときは音を出さないようにすること。
- ④ 珠算種目であっても、そろばんを使用しないで計算してもさしつかえない。
- ⑤ 受験票を紛失したり、忘れていたりしたような場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- ⑥ 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。